

熊本 S. J. C. D. 例会 抄録

演題 「小児咬合誘導と混合歯列模型分析による診断」

演者 鮫田誠也

日付 平成 20 年 9 月 30 日（火）

Keywords

1. 咬合誘導
2. 模型分析

抄録

近年、歯科検診を希望して来院する小児患者の多くに、歯列不正、不正咬合が見られます。その多くは前歯部の叢生や1～2歯の切歯逆被蓋であり、このような小児患者が来院した場合、処置を行うべきか、経過を見るべきか判断に悩むことがあるのではないのでしょうか。このような歯列不正、咬合不正を認める小児患者に対して我々は正常な発育パターンに乗せてあげることが求められ、これにより成人での多くの不正咬合は予防できるはずです。今回は当院で行っている、模型分析を中心とした小児の歯列不正、不正咬合の診断と治療の手順について発表させていただきます。諸先生方のご意見をどうぞよろしく願いいたします。